

海外安全対策情報（平成30年10月～12月）

1. 地域情勢

（1）デトロイト市

コメリアパークなどが所在するダウントウン、新たにNBAデトロイト・ピストンズの本拠地となったリトルシーザース・アリーナやデトロイト美術館（DIA）が所在するミッドタウンを中心に治安は回復傾向にあります。2017年中に市内で発生した殺人事件数も、過去50年間で最小となる267件（前年比38件減）となりました。

一方で、上記エリアを除く廃墟が残る地域では、依然として殺人や強盗等の凶悪犯罪が多発しています。また、ダウントウンやミッドタウンでも人通りが少なくなる深夜帯には強盗、銃撃事件が発生しています。

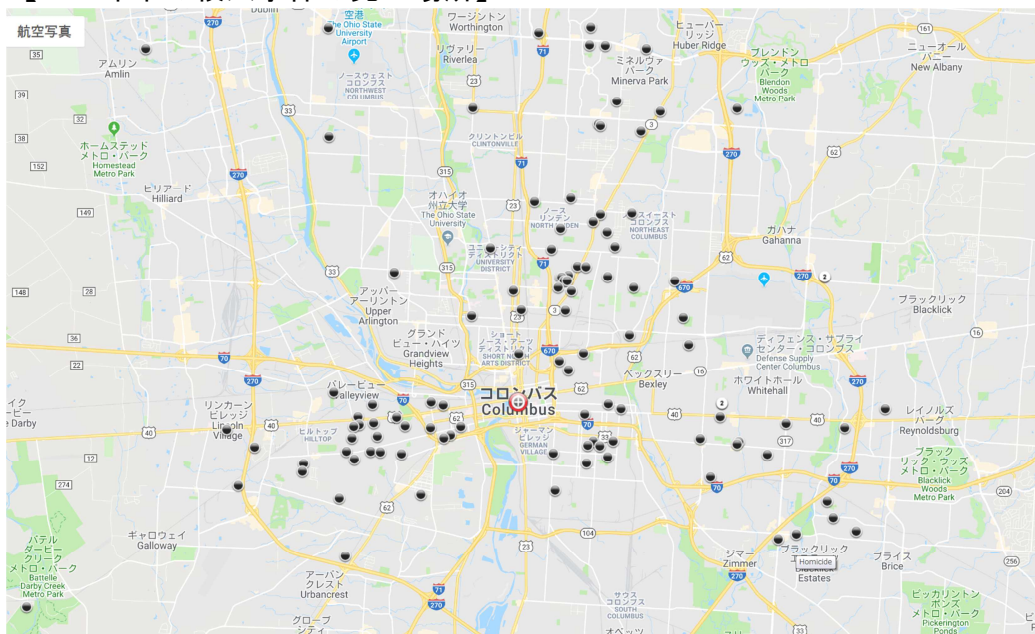
デトロイト市の治安は回復しつつありますが、依然として凶悪犯罪が多発する全米有数の危険な都市であることを念頭に、廃墟が残る地域には興味本位等で立ち入らず、ダウントウンやミッドタウンにおいても深夜帯の外出は控えるよう注意して下さい。

（2）コロンバス市（オハイオ州）

2017年に過去最悪となる143件（前年比52件増）の殺人事件発生件数を記録したコロンバス市は、2018年10月における殺人事件発生件数が前年比17パーセント減少となっているものの、決して安心してはいけません。人通りが少ない路地への立入りや夜間の外出は控える、強盗等に遭った際は抵抗しないなど、犯罪に対する基本的な警戒は怠らないようご注意ください。

また、市警察は「殺人事件の大多数はギャングによる抗争事件で、一般市民を対象としていない」としていますが、約75%で銃器が使用されており、ナイトクラブでの銃撃事案も散発していますので、これらの場所には立ち入らないようお願いします。

【2018年中の殺人事件の発生場所】



(3) その他の地域

邦人が多く居住するノバイ市（ミシガン州）やダブリン市（オハイオ州）等の治安は引き続き良好です。しかし、都市部では若者同士のトラブルが銃撃に発展する可能性もあることから、特にナイトクラブやイベント会場など若者が多く集まる場所ではご注意下さい。

2. 犯罪発生状況

管轄内の主要都市と邦人が多く居住する地域の犯罪発生状況（件数）は以下のとおりです（期間：2018年10月1日から12月1日。括弧内は前年比）。

州	都市名	殺人	性犯罪	強盗	侵入盗	車上荒らし	自動車盗
ミシガン州	デトロイト	56 (+18)	324 (+174)	547 (-46)	2122 (+62)	1504 (+178)	1547 (-133)
	ノバイ	0 (±0)	0 (±0)	1 (-2)	4 (-7)	27 (-2)	4 (+1)
	アナーバー	0 (±0)	15 (-7)	12 (-2)	39 (-49)	120 (-38)	19 (-4)
オハイオ州	ダブリン	1 (+1)	0 (±0)	7 (±0)	28 (+9)	54 (-27)	8 (-6)
	コロンバス	5 (-1)	1 (+1)	114 (-4)	208 (+2)	363 (-42)	182 (+11)
	シンシナティ	3 (-2)	2 (-6)	80 (-16)	291 (+34)	1032 (+93)	331 (-147)

3. テロ情勢

オハイオ州トリド地域の男女2人が、それぞれ個別に大量殺傷事件を計画していたとして治安当局に逮捕されました。21才の男性容疑者は、イスラム過激派の支持者で、10月27日にペンシルバニア州ピッツバーグのユダヤ教礼拝所で発生した銃乱射事件の影響も受けたとされており、トリド市内のユダヤ教礼拝所を襲撃する目的でライフル2丁を入手した時点で逮捕されました。

23才の女性容疑者は、トリド市内のバーで大量殺傷事件を計画していましたが、その後オハイオ州北西部の製造工場を爆破させる目的で、爆弾に必要な火薬等を購入したところを治安機関によって逮捕されました。

ミシガン州とオハイオ州内での具体的な脅威情報には接していませんが、当地の治安当局も「個人によるテロを完全に阻止することは困難で、いかなる場所でも注意は常に必要」との見解を示しています。イベント会場やショッピングモール、空港など多数が集まる場所では、特に周囲の状況に配意し、挙動不審な者や置き去りのバッグなど不審を感じた際は、その場を離れるようにして下さい。また、事件に遭遇した場合は被害を最小限に抑えるため、警察官等の指示に従い行動する、パニック状態となった群衆の中で負傷するおそれもあるので、周囲がパニック状態になっても冷静を保つように努める等に留意して下さい。

4. 日系企業の安全等に関わる諸問題

デモやヘイトクライムなど対日感情の悪化に係る事案は把握していません。